



ゴッホ展

家族がつないだ画家の夢

来夏 大阪を皮切りに東京、愛知巡回開催決定！

2025年7月5日(土)～8月31日(日) 大阪市立美術館
2025年9月12日(金)～12月21日(日) 東京都美術館
2026年1月3日(土)～3月23日(月) 愛知県美術館(予定)

大阪市立美術館、東京都美術館、愛知県美術館では、「ゴッホ展 家族がつないだ画家の夢」を開催する運びとなりました。

[会期：2025年7月5日(土)～8月31日(日) 大阪市立美術館、2025年9月12日(金)～12月21日(日) 東京都美術館、2026年1月3日(土)～3月23日(月) 愛知県美術館(予定)]

フィンセント・ファン・ゴッホ(1853-1890)の作品は、どのように今日まで伝えられてきたのでしょうか。本展では、家族が受け継いできたコレクションに焦点を当てます。

ファン・ゴッホの画業を支え大部分の作品を保管していた弟テオは、兄の死の半年後に生涯を閉じ、テオの妻ヨーが膨大なコレクションを管理することとなります。ヨーは、義兄の名声を高めることに人生を捧げ、作品を展覧会に貸し出し、販売し、膨大な手紙を整理して出版しました。その息子フィンセント・ウィレムは、コレクションを散逸させないため、フィンセント・ファン・ゴッホ財団をつくり、美術館の設立に尽力します。

アムステルダムのファン・ゴッホ美術館には、画家フィンセント・ファン・ゴッホの約200点の油彩や500点にのぼる素描をはじめ、手紙や関連作品、浮世絵版画などが所蔵されています。そのほとんどは1973年の開館時に、フィンセント・ファン・ゴッホ財団が永久貸与したものです。

本展では、ファン・ゴッホ美術館の作品を中心に、ファン・ゴッホの作品30点以上にくわえ、日本初公開となるファン・ゴッホの手紙4通なども展示し、家族が守り受け継いできたコレクションをご紹介します。



フィンセント・ファン・ゴッホ
《画家としての自画像》

1887年12月-1888年2月
油彩、カンヴァス 65.1×50cm *1



フィンセント・ファン・ゴッホ
《グラジオラスとエゾギクを生けた花瓶》

1886年8-9月
油彩、カンヴァス 46.5×38.4cm *1

みどころ

- ① ファン・ゴッホ家のコレクションに焦点を当てた日本初の展覧会
- ② 30点以上のファン・ゴッホ作品で初期から晩年までの画業をたどる
- ③ ファン・ゴッホが集めた作品や初来日となるファン・ゴッホの手紙4通を展示

ゴッホ・ファミリー

フィンセントの弟



フィンセント・ファン・ゴッホ
(1853-1890) *3



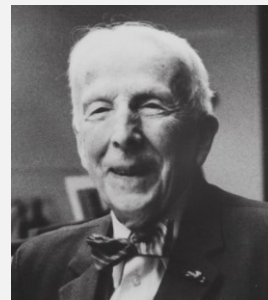
テオドルス・ファン・ゴッホ
(愛称テオ、1857-1891) *3

フィンセントの義妹



ヨハンナ・ファン・ゴッホ=ボンゲル
(愛称ヨー、1862-1925) *3

フィンセントの甥



フィンセント・ウィレム・ファン・ゴッホ
(愛称エンジニア、1890-1978) *4

主な出品作品



① フィンセント・ファン・ゴッホ
《画家としての自画像》

1887年12月-1888年2月 油彩、カンヴァス 65.1×50cm *1

2年間のパリ時代終盤に描かれた自画像。同地で身につけた筆づかいと、補色を効果的に用いた色彩表現が見どころ。1890年にファン・ゴッホと初めて会ったヨーは、本作の姿がこの時の印象によく似ていると回想している。



② フィンセント・ファン・ゴッホ
《グラジオラスとエゾギクを生けた花瓶》

1886年8-9月 油彩、カンヴァス 46.5×38.4cm *1

パリで自らの表現が時代遅れなものだと気づいたファン・ゴッホは、1886年の夏、新しい表現を身につけようと35点を超える花の静物画を描き、実験を繰り返した。本作においても効果的な色彩の組み合わせや自由な筆づかいが試みられている。



③ フィンセント・ファン・ゴッホ
《種まく人》

1888年11月 油彩、カンヴァス 32.5×40.3cm *1

ゴーガンと暮らした南仏アルルで生まれた作品。敬愛する画家ミレーの描いた種まく人を自らも描きたいと、試行錯誤を繰り返し、本作の構図にたどり着いた。大胆な色彩の組み合わせだが、秋の夕暮れを表すためにやや落ち着いた色調が用いられている。



④ 「傘を持つ老人が描かれた、フィンセント・ファン・ゴッホからアントン・ファン・ラッパルトに宛てた手紙」

1882年9月23日頃 *2

ファン・ラッパルトは、画業のごく初期に知り合ったオランダ時代の先輩画家。ファン・ゴッホはときに作品のスケッチを描き込み、意見や助言を求めた。《ジャガイモを食べる人々》への手厳しい批評でふたりの友情は終わりを迎えることとなる。

*1 ファン・ゴッホ美術館、アムステルダム (フィンセント・ファン・ゴッホ財団) Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)

*2 ファン・ゴッホ美術館、アムステルダム (フィンセント・ファン・ゴッホ財団) Van Gogh Museum, Amsterdam (purchased with support from the Vincent van Gogh Foundation, the Mondriaan Fund, the Ministry of Education, Culture and Science, the VSBfonds and the Cultuurfonds)

*3 Credits of the photos: Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)

*4 ©:unknown

《報道関係のお問い合わせ》

「ゴッホ展」広報事務局 (ユース・プランニングセンター内) 担当: 鈴木・池袋

〒150-8551 東京都渋谷区桜丘町9-8 KN渋谷3ビル4F

Tel: 03-6821-8808 Fax: 03-6821-8869 E-mail: gogh-ten2025@ypcpr.com

「ゴッホ展」広報事務局行

FAX: 03-6821-8869 E-mail: gogh-ten2025@ypcpr.com

本展の作品画像を、広報素材として提供いたします。下記返信用紙に必要事項をご記入のうえご返信ください。画像（JPEG）をメールで送信いたします。

【画像使用に際しての注意】

- 本展広報目的での使用に限ります。使用可能期間は本展会期終了までとなります。
- 展覧会名、会期、会場名ほか画像クレジット（リスト参照）を必ず掲載してください。
- 画像は全図で使用してください。文字を重ねる、トリミングなど画像の加工・改変・部分での使用はできません。
- WEBサイトに掲載する場合は、コピーガードを施してください。コピーガード対応が出来ない場合には、別画像をご用意しております。申請書にチェックのうえご提出願います。
- 本展会期中であっても、再放送や転載をされる場合はその都度申請くださいますようお願いいたします。
- 基本情報と画像使用の確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で広報事務局までお送りいただきますようお願いいたします。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープを、本展広報事務局へ1部お送り願います。
- 画像使用後は、データの破棄をお願いいたします。

✓	No.	ご掲載時に必要なクレジット表記 ※技法、素材、サイズは省略可能です。
<input type="checkbox"/>	①	フィンセント・ファン・ゴッホ 《画家としての自画像》 1887年12月-1888年2月 油彩、カンヴァス 65.1×50cm ファン・ゴッホ美術館、アムステルダム（フィンセント・ファン・ゴッホ財団） Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)
<input type="checkbox"/>	②	フィンセント・ファン・ゴッホ 《グラジオラスとエゾギクを生けた花瓶》 1886年8-9月 油彩、カンヴァス 46.5×38.4cm ファン・ゴッホ美術館、アムステルダム（フィンセント・ファン・ゴッホ財団） Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)
<input type="checkbox"/>	③	フィンセント・ファン・ゴッホ 《種まく人》 1888年11月 油彩、カンヴァス 32.5×40.3cm ファン・ゴッホ美術館、アムステルダム（フィンセント・ファン・ゴッホ財団） Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)
<input type="checkbox"/>	④	「傘を持つ老人が描かれた、フィンセント・ファン・ゴッホからアントン・ファン・ラッパルトに宛てた手紙」 1882年9月23日頃 ファン・ゴッホ美術館、アムステルダム（フィンセント・ファン・ゴッホ財団） Van Gogh Museum, Amsterdam (purchased with support from the Vincent van Gogh Foundation, the Mondriaan Fund, the Ministry of Education, Culture and Science, the VSBfonds and the Cultuurfonds)

■貴媒体についてお知らせください。

貴社名：
 媒体名： 掲載コーナー、特集名（ ）
 ※WEB掲載を予定している場合はチェックをお願いします。 コピーガード対応 可 ・ 不可
 掲載月号： 月 日 発売（ 号） / 発行部数 部
 ご担当者名： E-mail：
 連絡先： 電話： FAX：

《報道関係のお問い合わせ》
 「ゴッホ展」広報事務局（ユース・プランニングセンター内） 担当：鈴木・池袋
 〒150-8551 東京都渋谷区桜丘町9-8 KN渋谷3ビル4F
 Tel: 03-6821-8808 Fax: 03-6821-8869 E-mail: gogh-ten2025@ypcpr.com